

令和4年度 当初予算

市の一年間のお金の使い方をもとめた当初予算が決定しました。
 令和4年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて51億5,062万5千円（率にして8.7%）増の644億8,247万5千円となっております。このうち、一般会計は4.7%増の280億2,111万5千円、特別会計は13.1%増の206億162万7千円、企業会計は10.6%増の158億5,973万3千円、全会計は8.7%増の644億8,247万5千円となっております。

【財政課】

各会計の当初予算額

一般会計 **280億2,111万5千円**

(対前年度比 4.7%増)

特別会計 **206億162万7千円**

(対前年度比 13.1%増)

企業会計 **158億5,973万3千円**

(対前年度比 10.6%増)

全会計 **644億8,247万5千円**

(対前年度比 8.7%増)

予算の概要

歳入

主な事業として、国城寮建替工事に伴う老人福祉施設事務組合負担金の支出や、紀見・城山小学校の大規模改造事業、紀見地区公民館などの移転統合事業、道路維持修繕事業など、市内公共施設などの老朽化対策に取り組みます。

また、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を円滑に進めるための経費や災害時に必要となる備蓄品の整備など、昨年度に引き続き住民の安全・安心な暮らしを守るための取り組みを反映した予算編成となっております。

歳出

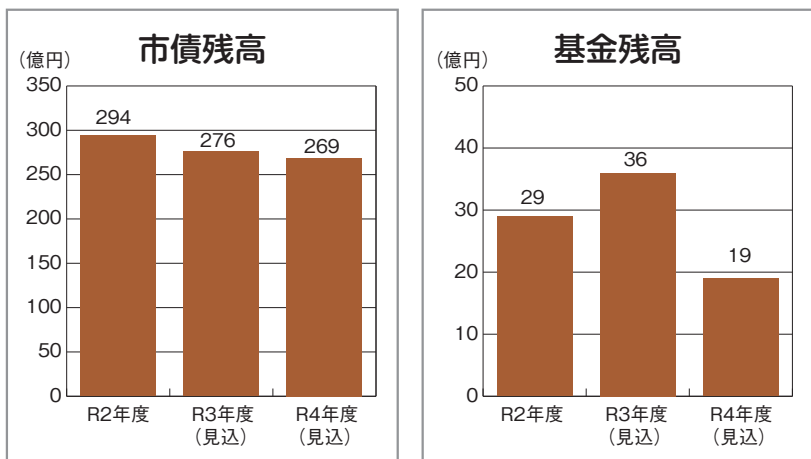
市税については、前年度に新型コロナウイルス感染症の影響による個人市民税や法人市民税、固定資産税の減額などを多く見込んでいたことから、昨年度に比べ増額の予算となっております。

また、依然として社会保障費が増加することなどから、財源不足に対応するため、市の貯金である基金の繰入れに頼った予算編成となっております。

基金と市債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てた企業誘致基金などの特定目的基金を取り崩したことから減少しています。

市債は、償還が進んでおり、残高は減少しています。

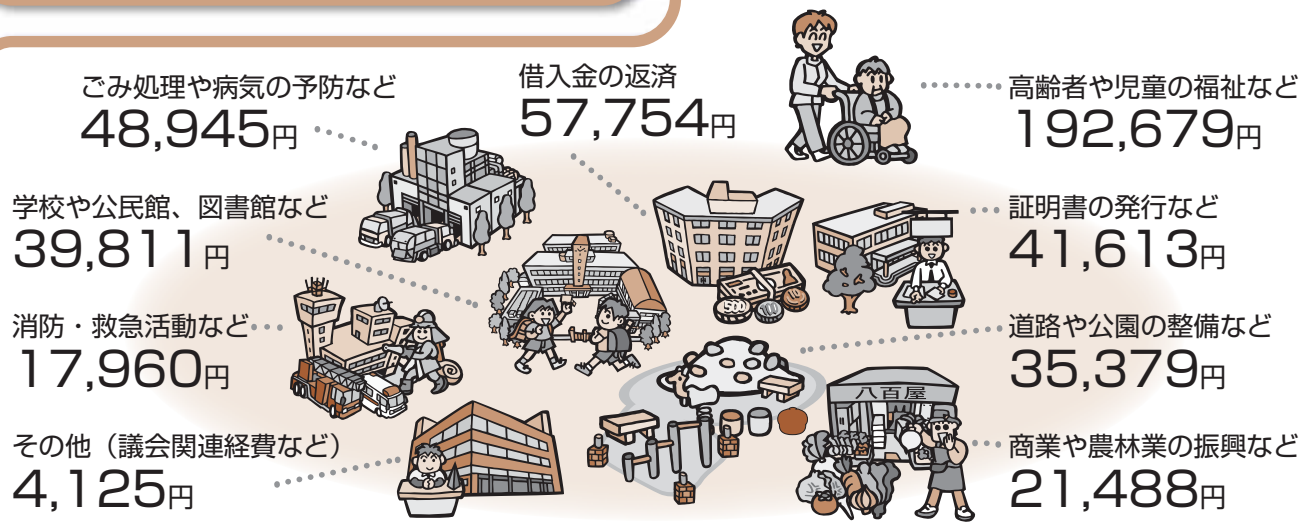


一般会計の内訳



市民1人当たりの市税負担額 **108,953円**

市民1人当たりが受ける行政サービス額 **459,754円**



※「市民1人当たりの市税負担額」および「市民1人当たりが受ける行政サービス額」は令和4年1月31日の市の住民基本台帳登録人口数（60,948人）で除して算出しています。